



各 位

NPO 放送批評懇談会 (担当 : 中島 / 福島)

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

発表!! 第 58 回ギャラクシー賞

テレビ、ラジオ、CM、報道活動各部門入賞作品

テレビ部門「個人賞」「特別賞」

ラジオ部門「DJ パーソナリティ賞」

平素は放送批評懇談会にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

テレビ、ラジオ、CM の作品、制作者、関係者に贈る賞として 58 年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」。

本日、第 58 回のテレビ部門、ラジオ部門、CM 部門、報道活動部門の入賞作品および、テレビ部門個人賞、特別賞、ラジオ部門 DJ パーソナリティ賞を発表いたします。詳しくは 2 ページ以降をご覧ください。貴誌 / 紙、貴メディアでのお取り扱いをお願いいたします。

なお、各部門の大賞、優秀賞、選奨は、6 月 2 日 (水) 開催の贈賞式で決定、発表いたします。

贈賞式は新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客で執り行い、放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネルでライブ配信を行います。

6 月 2 日の贈賞式ライブ配信も広くお知らせいただければ幸いです。

第 58 回ギャラクシー賞贈賞式 YouTube ライブ配信

日時 : 6 月 2 日 (水) 午後 3 時 ~ 5 時 15 分 (15:00-17:15)

放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/HOUKONchannel>



新型コロナウイルスの感染状況によっては、贈賞式を延期または中止する場合があります。ご了承ください。



第 58 回ギャラクシー賞 テレビ部門

委員長 古川柳子

副委員長 桧山珠美

委員 石田研一 梅田恵子 永 麻理 太田省一 岡室美奈子 桶田 敦 加藤久仁 兼高聖雄 戸田桂太
戸部田誠 藤田真文 細井尚子

2020 年度はコロナ禍で番組制作現場もさまざまな苦境に直面した年でしたが、昨年を上回る応募があり、応募作品 328 本（地上波局 238 本、BS・CS 局 20 本、ケーブルテレビ局 9 本・制作会社 61 本）と月間賞作品 47 本の計 375 本が審査対象となりました。選考会では非常に熱の入った検討が行われ厳正な審査の結果、入賞作品 14 本、個人賞、特別賞各 1 本を決定しました。

入賞作品にはコロナ禍や社会のひずみ、東日本大震災から 10 年、国内外で多発した人権や民主主義が問われる出来事など、世相を映すさまざまなテーマが並びました。いずれの番組ジャンルでも、現実と向き合いながら生きる人々に丁寧に光を当て、背後にある社会や時代を描き出した力作が多く、高い評価を集めました。また、コロナ禍で前例のない対応を余儀なくされるなか、新たなテレビ表現や制作方法などへの意欲的な挑戦が見られたことも、今年の傾向といえます。（古川柳子）

テレビ部門入賞作品

以下の 14 本から、大賞 1 本、優秀賞 3 本、選奨 10 本が選出され、6 月 2 日発表されます。

◆BS1 スペシャル「デジタルハンター～謎のネット調査集団を追う～」

日本放送協会 NHK グローバルメディアサービス

◆テレビで会えない芸人

鹿児島テレビ放送

◆プロフェッショナル 仕事の流儀「餅ばあちゃんの物語」

日本放送協会

◆世界は 3 で出来ている

フジテレビジョン

◆BS1 スペシャル「レバノンからの SOS～コロナ禍 追いつめられるシリア難民～」

日本放送協会 椿プロ NHK エデュケーショナル

◆新プライド～富山の仕事人～ #38 道路作業員 谷口純一（道路施設株式会社）

ケーブルテレビ富山



◆金曜ドラマ「MIU404」

TBS テレビ TBS スパークル

◆NHKスペシャル「香港 激動の記録～市民と“自由”の行方～」

日本放送協会

◆浜の朝日の嘘つきどもと

福島中央テレビ

◆よりそい～静寂と生きる難聴医師 2020 秋篇

CBC テレビ

◆逆転人生「貧困の連鎖を断て！ 西成高校の挑戦」

日本放送協会

◆NHKスペシャル「イナサ～風寄せる大地 16年の記録～」

日本放送協会

◆オトナの土ドラ「その女、ジルバ」

東海テレビ放送 テレパック

◆金曜ドラマ「俺の家の話」

TBS テレビ TBS スパークル

テレビ部門特別賞

日本電波ニュース社

22年間にわたり、中村哲医師の活動を記録し続け、多くのドキュメンタリー作品でその精神を伝えてきた功績に対して
＜選評＞

「彼の言葉には常に“希望”があった!」。アフガニスタンで襲撃されて亡くなった中村哲医師を、長年にわたり取材し続けてきた電波ニュースのカメラマン谷津賢二氏の言葉です。電波ニュースは1998年から中村医師への取材を行い、これまでに1000時間のVTRを回して20本以上の番組を制作してきました。そして今でも、アフガンや日本で彼の意思を継ぐ人たちの思いを伝え続けています。その功績は顕著であり、2020年度の特別賞を贈ることに決定しました。



テレビ部門個人賞

サンドウィッチマン

卓抜な芸人力で人々の気持ちと向き合い、笑いの力で人々を励まし、東北の「心の復興」に並走してきたことに対して

<選評>

笑いの実力は芸人仲間をも唸らせるほど。「好きな芸人ランキング」では3年連続No.1に輝き、幅広い世代に愛されています。また、東日本大震災以来、東北の支援に尽力し続け、その功績は計り知れません。10年目の2021年は、多くの番組で東北の今を伝えました。さまざまな番組を通し、「笑いの力」で人々を励まし、東北の心の復興に並走してきたサンドウィッチマンに、今年度の個人賞を贈呈します。



第 58 回ギャラクシー賞 ラジオ部門

委員長 五井千鶴子

副委員長 桜井聖子

委員 鵜飼一嘉 川喜田尚 北郷裕美 永須智之 松浦正和 松崎泰弘 三原 治 迎 康子 本村 隆 山田眞嗣

一年以上経過しても終息の気配すら見えないコロナ禍。ラジオの放送形態も大きく様変わりして応募作品の減少を危惧していましたが、上期 45 本、下期 43 本、計 88 本の応募を頂き、結果的には昨年と同数となりました。カテゴリー別の内訳は生ワイド 21 本、音楽&エンターテインメント 34 本、ドラマ 10 本、報道・ドキュメンタリー 23 本でした。

新型コロナ、戦後 75 年、東日本大震災 10 年、SDGs と本年度の応募作品のテーマは多士済々。すべてのカテゴリーの作品に新しい取り組み、工夫がこらされていました。特筆すべきは、コミュニティ FM 局の躍進でした。年々、応募は増加していましたが、本年度はクオリティの高さに驚きの声があがり、大きな喝采を浴びました。

幾度にもわたる緊急事態宣言の発出で自粛生活を余儀なくされている今、ラジオの頑張りが求められています。こんなご時勢の影響で気が減入るようなとき、リスナーに一番身近なラジオは何を求められ、何をすべきか……。その答えの一端が第 58 回ギャラクシー賞受賞作に見い出されるはず。議論を尽くした結果、選考委員の総意で 8 本の入賞作が選出されました。(五井千鶴子)



ラジオ部門入賞作品

以下の 8 本から、大賞 1 本、優秀賞 3 本、選奨 4 本が選出され、6 月 2 日発表されます。

◆河原崎辰也いくしかないだろう！特別企画「地域を守れ！外国人とのリアルな暮らし特集」

CBC ラジオ

◆南海放送報道特別番組「感染」—正義とは何か—

南海放送

◆SBS ラジオギャラリー「ダンシングジャパン～リズムに乗ったら手を叩こう！～」

静岡放送

◆文化放送・戦後 75 年スペシャル「封印された真実～軍属ラジオ」

文化放送

◆TOKYO FM 特別番組「Positive～コロナとホテルとラインチャット～」

エフエム東京

◆ラジオ×教育特番「笑顔で学ぶ！with コロナ」

FM ひらかた

◆塀の中のラジオ～贖罪と更生 岡山刑務所から

RSK 山陽放送

◆ココロ音ラジオ和音

ハートネットワーク

ラジオ部門DJパーソナリティ賞

落合健太郎

「ROCK KIDS 802 -OCHIKEN Goes ON!!-」「Chillin' Sunday」(FM802) パーソナリティとして

<選評>

FM802「ROCK KIDS 802」のパーソナリティを長年つとめ、オチケンの愛称で親しまれています。関西の若者向け音楽番組を牽引。リスナーを「ラジ友」と呼び、学校訪問や学園祭作り、「ラジ友交換日記」など番組だけでなくリアルの場でも若い世代に向き合ってきました。3月に放送した「ラジオで卒業式～ラジ友卒業生全員集合」では、コロナ禍のなかで卒業を迎える多くのラジ友のラジオネームを読み上げ、アーティストとともに門出を祝いました。



第 58 回ギャラクシー賞 CM 部門

委員長 服部千恵子

副委員長 汲田亜紀子

委員 家田利一 泉 貴文 今宿裕昭 風間恵美子 川野康之 木下一郎 島崎英雄 中島和哉 村田玲子
山口菜穂美 山下治城

第 58 回ギャラクシー賞 CM 部門は、上期 121 本、下期 125 本、計 246 本の応募をいただきました。内訳はテレビ CM が 146 本、ラジオ CM が 100 本。対前年で 81 本の応募が減少しました。経済と密接な関係をもつ CM にとって、コロナ禍の影響は想像を超えて大きかったと言えます。減少数は、テレビ CM が 58 本、ラジオ CM が 23 本。ラジオ CM に比べテレビ CM に大きく影響が出ました。

選考会では、上期 13 本の入賞候補作品に加えて下期 13 本を選出し、合わせた 26 作品の中から最終的な入賞作品を選考しました。コロナ禍という「特別な年」の作品を評価する意味を改めて確認し、記憶と記録に残る今年ならではの作品を選考することを心がけました。

コロナ禍そのものをテーマに取り入れた作品や、「密を避ける」制約からリモート撮影などの手法が取り入れられた作品、新しい生活様式を反映し新商品やシステムを訴求する作品——。視聴者の琴線に触れ、社会性に優れた CM 作品を選考することに留意して、下記の 13 作品を選出しました。

(服部千恵子)

CM 部門入賞作品

以下の 13 本から、大賞 1 本、優秀賞 3 本、選奨 9 本が選出され、6 月 2 日発表されます。

【テレビ CM】

◆大塚製薬 カロリーメイト「見えないもの」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

◆大塚製薬 ポカリスエット「ポカリ NEO 合唱 2020 (フル) 篇」

大塚製薬 電通 なかよしデザイン スプーン

◆コーセー医療従事者応援プロジェクト「You are my HERO」

コーセー 博報堂 AOI Pro. 博報堂プロダクツ

◆サントリーホールディングス CRAFT BOSS シリーズ 宇宙人ジョーンズ「顔合わせ A」「顔合わせ B」「農場」「銭湯」「稽古場 A」「稽古場 D」

サントリーホールディングス 連 ワンスカイ 電通 ギークピクチャーズ



◆全国都道府県及び20指定都市 年末ジャンボ2020 シリーズ ジャンボ兄ちゃん「良いこと報告会篇」「10億イメトレ篇」「書道篇」「ジャンボアンセム篇」

全国都道府県及び20指定都市 電通 TYO

◆東海テレビ放送 公共キャンペーン・スポット「この距離を忘れない。」

東海テレビ放送 電通 東海テレビプロダクション エンジンフィルム

◆トヨタ自動車 トヨタタイムズ「トヨタ生産方式 取材」

トヨタ自動車 電通 AOI Pro.

◆日清食品ホールディングス カップヌードル シーフード「ほほイカ登場篇」

日清食品ホールディングス 電通 ソーダコミュニケーションズ

◆日本マクドナルド カフェラテ/ちょいマック ヤッキー/ちょいマックスパチキ/プレミアムローストコーヒー シリーズ「木村氏、どなたかと篇」「木村氏、後輩と篇」「木村氏、先輩と篇」「木村氏、お隣に篇」

日本マクドナルド TUGBOAT 電通 東北新社

◆プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン PANTENE「#PrideHair」

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン GREY Tokyo TYO drive

◆ヤマトグループ 企業 シリーズ 未来より先に動け。「おばあさんと処方薬篇」「いつものカフェ篇」「新米パパ篇」

ヤマトグループ 電通 エンジンフィルム

◆ユニクロ Wジーンズ/Mジーンズ/きれいラ/ブラトップ シリーズ LifeとWear「買い物60秒」「買い物30秒」「雨やどり」「走るクルマ」

ユニクロ 連 ワンスカイ catch WATCH トレードマーク ギークピクチャーズ

【ラジオCM】

◆大日本除虫菊 ゴキブリムエンダー なな子と光三郎シリーズ「出会い」「手紙」「急接近」「訪問」「プロポーズ」「エピソード」

大日本除虫菊 電通関西支社 ヒッツコーポレーション



第 58 回ギャラクシー賞 報道活動部門

委員長 茅原良平

副委員長 長井展光

委員 市川哲夫 小泉世津子 境真理子 関 美礼 西島泰三 中村正敏 原 真 樋口喜昭 松山秀明

今期の応募本数は上期 10 本、下期 24 本の計 34 本でした。NHK、キー局、ローカル局、ケーブルテレビ局、ラジオ局から参加があり、地域も広範囲で力作揃いでした。

特に新型コロナ関連のものが多く、その中には未来を担う若者に寄り添った企画が並び、苦難を共に乗り越えようというポジティブなメッセージがよく伝わりました。また、オンラインを活用した取り組みも多く、新しい報道活動の萌芽を感じました。

そして戦後 75 年、東日本大震災から 10 年、自局の報道活動の周年と“節目”に関するもの。取材を根気強く重ね、当事者と真摯に向き合い、根深い社会問題に目を向けたシリーズ企画にも注目が集まり、「継続は力なり」を体現した報道活動として高く評価されました。

本部門は番組単体ではなく、一連の活動全体を 11 名の選奨委員で厳正に審査し、議論と投票を重ねて、次の 6 本を入賞作として決定しました。 (茅原良平)

報道活動部門入賞作品

以下の 6 本から、大賞 1 本、優秀賞 2 本、選奨 3 本が選出され、6 月 2 日発表されます。

◆シリーズ老障介護

朝日放送テレビ

◆「報道特集」40 年の歩みとこれから

TBS テレビ

◆15 秒のジャーナリズム 報道ドキュメンタリー CM10 年のあゆみ

東海テレビ放送

◆ピンクリボン活動の 18 年 (おっぱい 2 つとってみた その前と後)

北海道テレビ放送

◆映像`20 映像シリーズ 40 年 真夜中のジャーナリズム

毎日放送

◆シリーズひきこもり

山口朝日放送



ギャラクシー賞の概要

◆歴史および概要◆

1963年、放送草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は年度単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河という訳のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は第50回（2013年）を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとなった。

◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会（毎月）が開催され、月間賞が選出されている。他部門も定例会を持ち番組・作品を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC／ぎやらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年2回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年5月下旬～6月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。



◆賞の内容◆

【テレビ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1、フロンティア賞 1

【ラジオ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞またはDJパーソナリティ賞 1

【CM部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 9

【報道活動部門】大賞 1、優秀賞 2、選奨 3

【その他】志賀信夫賞 1、マイベストTV賞グランプリ 1

(上記のほか、周年には記念賞を設ける場合がある。)

<志賀信夫賞>

放送批評懇談会の発展に寄与した放送評論家・志賀信夫の功績をたたえるために、2010年(第47回)創設。広く放送界の発展、放送文化の向上に貢献した人物等を表彰する。放送批評懇談会正会員の推薦を元に選出する。

<マイベストTV賞>

視聴者の参加により選ばれるテレビ番組賞で、2007年(第44回)創設。放送批評懇談会選奨事業委員会が候補番組を選定し、これを毎月、放送批評懇談会正会員と「Gメンバー」(視聴者によって構成される放送批評懇談会のオンライン会員)が投票して選出される。年間で最も得票を得たものが「マイベストTV賞グランプリ」として表彰される。

◆沿革◆

1963年度(表彰は1964年)ギャラクシー賞誕生、第1回。

1989年度 第27回、ラジオ部門独立。

1993年度 第31回、ラジオ部門にDJパーソナリティ賞新設。

1995年度 第33回、CM部門設立。

2002年度 第40回、報道活動部門設立。

2006年度 第44回、視聴者が選考に参加する「マイベストTV賞」を新設。

2009年度 第47回、「志賀信夫賞」を新設。

2015年度 第53回、テレビ部門にテレビの新しいチャレンジを応援する「フロンティア賞」を新設。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC(ぎやらく)」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行っています。

●過去の実賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース(<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください(掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など)。

以上